



令和3年3月18日
岡山大学

令和3年4月に文明動態学研究所を新設 キックオフ・シンポジウムを開催

岡山大学は、考古学、歴史学、人類学、経済学、社会学、哲学等の人文社会科学を核とし、本学および国内外諸機関の地質学、生物学、化学、物理学、神経科学、情報科学等の研究者との緊密な連携のもとに人類文明の来し方・行く末を探求する文理横断型研究拠点、岡山大学文明動態学研究所を2021年4月1日に設置します（所長：松本直子教授）。人文・社会科学系の研究所が国立大学に設置されるのは、中国・四国・九州地区では初めてです。社会組織、技術、信仰、経済、芸術などが、相互に関連しあい、人の生き方をどう変えるか、その複雑な動態を明らかにすることが文明動態学の目的です。社会文化科学研究科附属文明動態学研究センター（2018年10月設置）で行ってきた活動をさらに発展させ、過去から未来へ、地域から世界へ、というふたつの基軸において、人類社会が抱える課題を多角的に研究し、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を視野に入れながら、持続可能な社会の構築に貢献します。

研究所の設置を記念し、下記の通りキックオフ・シンポジウムを開催いたします。文明の誕生以来、幾度となく繰り返されるパンデミックをテーマとし、長崎大学の山本太郎教授（感染症学）をお招きして、「文明動態」のなかの感染症と人類の関係から、いま大事なことは何か、世界的な新型コロナウイルスのパンデミックの渦中で、私たちはどこへ向かえばよいのかを考えます。本シンポジウムをキックオフとして、文明動態の普遍的メカニズム、地域的・歴史的要因の重要性、環境変動に対するレジリエンス（復元力）の実態についての探究、地域社会の持続と発展のための新たな試みに挑戦します。

<開催概要>

1. 名 称 文明動態学研究所 キックオフ・シンポジウム
「パンデミックと文明—感染症と向き合う過去から未来へ—」
2. 日 時 2021年4月14日（水）14時～17時
3. 場 所 岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール ※オンライン配信あり
4. 対 象 者 どなたでもご参加いただけます。
5. 申 込 方 法 別紙参照
6. 参 加 費 用 無料

<関連イベント>

文明動態学研究所開所式
日時：2021年4月14日（水）13時
場所：岡山大学文法経1号館玄関

<お問い合わせ>

岡山大学大学院社会文化科学研究科
教授 松本 直子
（電話・FAX番号）086-251-7519

